



## United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

**関東ブロックユネスコ活動研究会 in 栃木**

2015年10月24日(土)、佐野短期大学において関東ブロックユネスコ活動研究会が開催されました。今年の主管ユネスコ協会は佐野ユネスコ協会、栃木県内の各ユネスコ協会もスタッフも一丸となって、協力し有意義な大会となりました。開倫ユネスコ協会からも受付や分科会での計時係、記録係などをさせていただきました。当協会からボランティア7名が参加しました。

オープニングセレモニーに続いて、「私とユネスコ」というテーマで基調講演がありました。講師は、参議院議員で元文部科学政務官の上野通子さんです。上野さんは2013年に日本の代表として、ユネスコ総会政府代表演説者をなされ、そのときの貴重な経験をさまざまな視点でお話しになりました。

午後は、下記の4つのテーマで分科会が開催されました。各分科会ともテーマに沿った発表とその内容についての活発な意見交換がなされました。

- ・第1「世界遺産・地域遺産と民間ユネスコ活動」
- ・第2「ユネスコ・スクールと民間ユネスコ活動の役割」
- ・第3「ユネスコと青少年活動」第4「ユネスコ活動の活性化と情報化」

**地域から始めよう ESD 活動の取り組み**
**「ユネスコが求める積極的平和」**

日本ユネスコ協会連盟鈴木佑司副理事長よりお話しがありました。

ESDとは、社会の課題と身近な暮らしを結びつけ、新たな価値観や行動を生み出すことを目指す学習や活動です。例えば、持続不可能な社会の課題を知り、その原因と向き合う。それらを解決するためにできることを考え、実際に行動する。そのような経験を通じて、社会の一員としての認識や行動力が育まれていきます。



開会セレモニー



基調講演: 元文部科学政務官 上野通子議員



分科会の様子

「いっくら」会長 長門芳子さん おめでとうございます！

## モンゴルから最高勲章を授与！

2015年9月14日、「いっくら国際文化交流会」の長門芳子（ながとよしこ）会長は、モンゴル国から最高勲章である、アルタンガダス北極星勲章を授与されました。授与の理由としては、モンゴルからの研修生の支援などを24年間にわたり、地道に続けてこられたことだそうです。

叙勲式には、東京都渋谷区のモンゴル国大使館で、ソドブジャムツ・フレルバートル駐日モンゴル大使、長門会長ら受章者8人と関係者ら計約30人が出席。フレルバートル大使が一人一人の胸に勲章を付け、証書を授与しました。

長門会長は、1983年に「いっくら国際文化交流会」を設立しました。92年から外務省の長期青年招聘（しょうへい）事業にも協力し、北東・中央アジア各国からの研修生を精力的に受け入れる中で、モンゴル人研修生との交流も始まった。帰国研修生による『ウランバートルいっくら』の創設やモンゴル語訳の昔話の出版、高校生の受け入れ、交流支援など、市民レベルの交流に力を注いできました。

また、長門会長は宇都宮ユネスコ協会の会長もされていて、栃木県ユネスコ連絡協議会に所属する開倫ユネスコ協会とも関係が深く、栃木県内で活動するユネスコ協会の仲間としてお互いにさまざまなご協力をさせていただいております。10月に行われました「関東ブロックユネスコ活動研究会」は、佐野ユネスコ協会が主管で、栃木県内5つのユネスコ協会もお手伝いさせて頂き、無事に終了致しました。



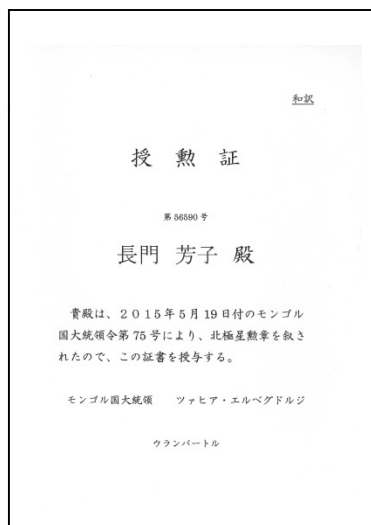
長門芳子会長



勲章



授勲証(モンゴル語)



授勲証(日本語)